

テーマ：10年後を見据えた人財育成に向けた教育改革について

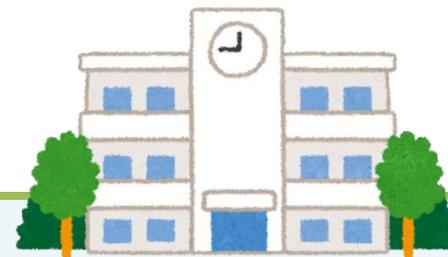
(1) 人財育成改革

- ① トップレベル人財の育成
- ② チャレンジ人財の育成（生き抜く力の育成）
- ③ 地元企業に貢献できる職業・技能人財の育成
- ④ 誰一人取り残さない取組
- ⑤ スポーツ・競技力向上



(2) 教育環境改革

- ① 教育ICT化改革（学習環境の整備）
- ② 教員の働き方改革
- ③ 優秀な教員確保，人事・給与制度改革
- ④ 学校施設整備の推進



◆対応の方向性

(1) 人財育成改革

目的	現在の取組等	短期的な方向性 (3～5年後) (2023～2025年)	中長期的な方向性 (5～10年後) (2025～2030年)
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> 中高一貫校設置推進 魅力ある高校づくり </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> 県立高校再編等 </div>	
① トップレベル人財育成	<ul style="list-style-type: none"> ◆次世代グローバルリーダー育成事業 ◆プログラミング・エキスパート育成事業 ◆A L Tやネイティブ教員の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ◆英語やプログラミングのトップ層の育成 ◆普通科の改革 	<ul style="list-style-type: none"> ◆グローバルに活躍できる人財育成 ◆A I・I C Tに精通・活用できるトップ層育成 → 社会を動かすトップランナーなど、優秀な人財の輩出
② チャレンジ人財育成 (生き抜く力の育成)	<ul style="list-style-type: none"> ◆IBARAKIドリーム・パス事業 ◆学校での課外活動推進 ◆青少年教育施設での体験学習 	<ul style="list-style-type: none"> ◆起業家精神の育成 ◆主体的な学習推進 ◆課題解決型学習 ◆企業体験型や生徒の自主企画による新たな学習プログラムによる体験学習 	<ul style="list-style-type: none"> ◆起業家精神の定着 ◆主体的な学習推進 ◆課題解決型学習 ◆多くの生徒が自主企画による体験学習を実施 → 多くのベンチャー起業家が誕生
③ 地元企業に貢献できる職業・技能人財育成	<ul style="list-style-type: none"> ◆産業教育（デュアルシステム） ◆特色ある学科づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ◆専門高校（職業学科）や芸術に特化した高校の設置・推進 ◆定時制・通信制の再編 	<ul style="list-style-type: none"> ◆時代に即応した専門性の高い人財育成 ◆高校の設置推進 → 地元企業への定着、本県産業の振興・発展
	<ul style="list-style-type: none"> 【特別支援学校】 ◆就職率アップ（R1:31.0%） ◆離職率ダウン（R1:11.3%）が課題 	<ul style="list-style-type: none"> ◆職業に直結する教育や支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◆職業に直結する教育や支援の充実・発展 → 地元企業の定着や貢献度の高まりによる就職率アップ・離職率ダウン
④ 誰一人取り残さない取組	<ul style="list-style-type: none"> ◆いじめ体罰解消サポートセンターの運営等 	<ul style="list-style-type: none"> ◆スクールカウンセラー等の活用 ◆SNS相談体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◆相談体制の充実や、いじめを生まない風土づくり → いじめの減少
⑤ スポーツ・競技力向上	<ul style="list-style-type: none"> ◆世界へ羽ばたくトップアスリート育成事業 	<ul style="list-style-type: none"> ◆優秀な人財の発掘・育成 ◆トップアスリート育成システムの構築と拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ◆人財の発掘・育成等の推進 ◆トップアスリート育成システムの定着 → 多くのトップアスリートを輩出、優秀な人財の充実

◆ 対応の方向性

(2) 教育環境改革

目的	現在の取組等	短期的な方向性 (3～5年後) (2023～2025年)	中長期的な方向性 (5～10年後) (2025～2030年)
①教育ICT化 改革 (学習環境整備)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ G I G Aスクール構想の推進 (端末の整備, 学校の通信環境の整備) ◆ 教育情報ネットワークの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 授業動画などを活用した反転学習 (自宅で動画視聴し予習)の定着 ◆ 学習アプリの活用などによる個別最適化学習の定着 ◆ 課題解決に重点を置いた探究的な学びの実現 ◆ 双方向型のオンライン授業の実施 (教員 - 生徒間, 学校間) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 個別最適化学習など, ICTを活用した教育の定着 → <u>児童生徒数の減少や, 学校再編による学校数減に対応した個別最適化学習スタイルの確立</u>
②教員の働き方 改革	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 業務の集約化・定型化の試行 ◆ 部活動指導員の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 働き方改革の実現 ◆ R P A, テレワーク環境の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 働き方改革の定着 → <u>教員がより良質な授業を実施できる環境の実現</u>
③優秀な教員 確保 (採用) 人事・給与 制度改革	<ul style="list-style-type: none"> ◆ いばらき輝く教師塾事業 (大学生対象の体験機会の創出)の実施等による優秀な人財の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 30代の人事異動見直し (学校-県庁) ◆ 人事評価制度見直し ◆ 給与体系の見直し ◆ インセンティブ設定 ◆ 福利厚生制度の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 左記改革により, 魅力ある教員の採用・異動ルールの実現 → <u>より良質な教育の実現</u>
④学校施設 整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学校施設の長寿命化計画の実行 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 生徒が魅力を感じる学校施設づくり ◆ 校舎や体育館の健全度を確保できる学校施設カルテの導入 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 魅力ある校舎づくり, カルテに応じた適時適切な改修の実施 → <u>生徒に最適な学校環境の実現</u>